

## 事業報告書

団体名 生産団体多家良インディゴーズ

事業名	藍の魅力発信事業	
事業の実施内容	時期	令和2年4月1日～令和3年3月31日
	場所	徳島市丈六町小谷24
	実施内容	<p><b>【藍の栽培】</b> 4月～8月の期間で藍を栽培。収穫した藍を使って本事業を実施した。</p> <p><b>【藍に関する体験学習の実施】</b> 多家良保育所及び西富田保育所にて藍染め体験学習を実施し、子ども達に藍を身近に感じてもらい、藍への関心を深めるよう取り組んだ。</p> <p><b>【藍のクレヨン作成】</b> 収穫された藍から染料となる沈殿藍を作成し、その染料から藍のクレヨンを作成した。</p> <p><b>【藍のクレヨンに関するアンケートの実施】</b> 藍のクレヨンの商品化や今後の藍の魅力発信の方法について市内保育所及び四国大学、芸術家等に実際に藍のクレヨンを使ってもらい、幅広くアンケートを実施した。</p>
	効果	<p>1 藍の魅力発信 藍に関する体験学習を実施し、藍のクレヨンを利用してもらうことで、藍を身近に感じ、藍に興味を持ち、藍の魅力を感じていただくことができた。</p> <p>2 郷土愛の醸成 徳島の特産品である藍に触れていただき、徳島の地域資源への興味関心を高め、郷土愛の醸成を図った。</p> <p>3 藍産業の振興 オリンピックのエンブレムに藍色が採用されたことで近年藍への興味関心が高まっている。「阿波藍」の日本遺産への認定申請を初め、藍サミット実行委員会、藍に関する研究開発プラットフォームへの参画、藍の生産面積拡大に対する支援、藍の販路拡大に関する支援などの取組みを実施している徳島市と共同で事業を行うことで、それらの取組みと併せて藍産業の振興を行った。</p>

	役割分担	<p>&lt;団体の役割&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラウドファンディングの協働と返礼品の準備、お礼状の送付</li> <li>・藍の生産</li> <li>・藍のクレヨンの作成</li> <li>・藍染め体験学習の実施</li> </ul> <p>&lt;徳島市の役割&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報 事業チラシの作成、設置、徳島マルシェでの配布 農業関係者への周知</li> <li>・資金調達 ふるさと納税によるクラウドファンディング</li> <li>・関係機関の調整 関係機関へのアンケート協力依頼</li> </ul>
	工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・藍の栽培からクレヨンの作成までを行い、六次産業化に取り組んだ。</li> <li>・藍の栽培に関して、藍専用の農機具が無い中、シソの刈り取り機などを活用し、作業の効率化・機械化を行った。</li> <li>・クレヨン生産の一部を福祉事業所に依頼し、農福連携に取り組んだ。</li> <li>・アンケートを実施する際、コロナ禍で大学の授業や地元のイベント等が中止となり、アンケート先がなかなか見つからなかったが、藍に関する研究開発プラットフォーム等の繋がりを活用しアンケートを実施することができた。</li> </ul>
今後の事業展開		<p>本事業では、藍のクレヨンを作成し、使ってもらうことで藍の魅力発信を行った。実際に藍の作付けからクレヨンの製造までを行い、アンケートを実施することで藍へのニーズを把握することができた。</p> <p>事業を実施している最中に藍の新型コロナウイルスへの影響などが新聞等で取り上げられ、思わぬ形で藍への注目度が高まることがあった。</p> <p>藍を活用した新しい生活様式への対応なども含め、クレヨンだけではなく藍の様々な活用方法を検討し、今後もより一層、藍の魅力を発信できる取り組みを行っていきたい。</p>

※この内容について、別様式にて報告書を作成している場合は、添付をもって代えることができます。

